

救急、救助



毎年開催される消防救助技術東海地区指導会に向けた訓練を行っています。
令和4年はロープブリッジ渡過で三重県代表として全国消防救助技術大会に出場しました。

救助訓練署内選考会
令和4年6月24日
於：菰野町消防本部

救急

令和4年中の救急出動件数は1,777件、搬送人員は1,734人でした。1日あたり平均4.9件の出動で、町民23人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,230件(69.2%)で最も多く、続いて一般負傷が279件(15.7%)、交通が162件(9.1%)、その他が106件(6.0%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で増加しました。これは、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波の影響や行動制限の緩和等が要因の1つではないかと考えられます。

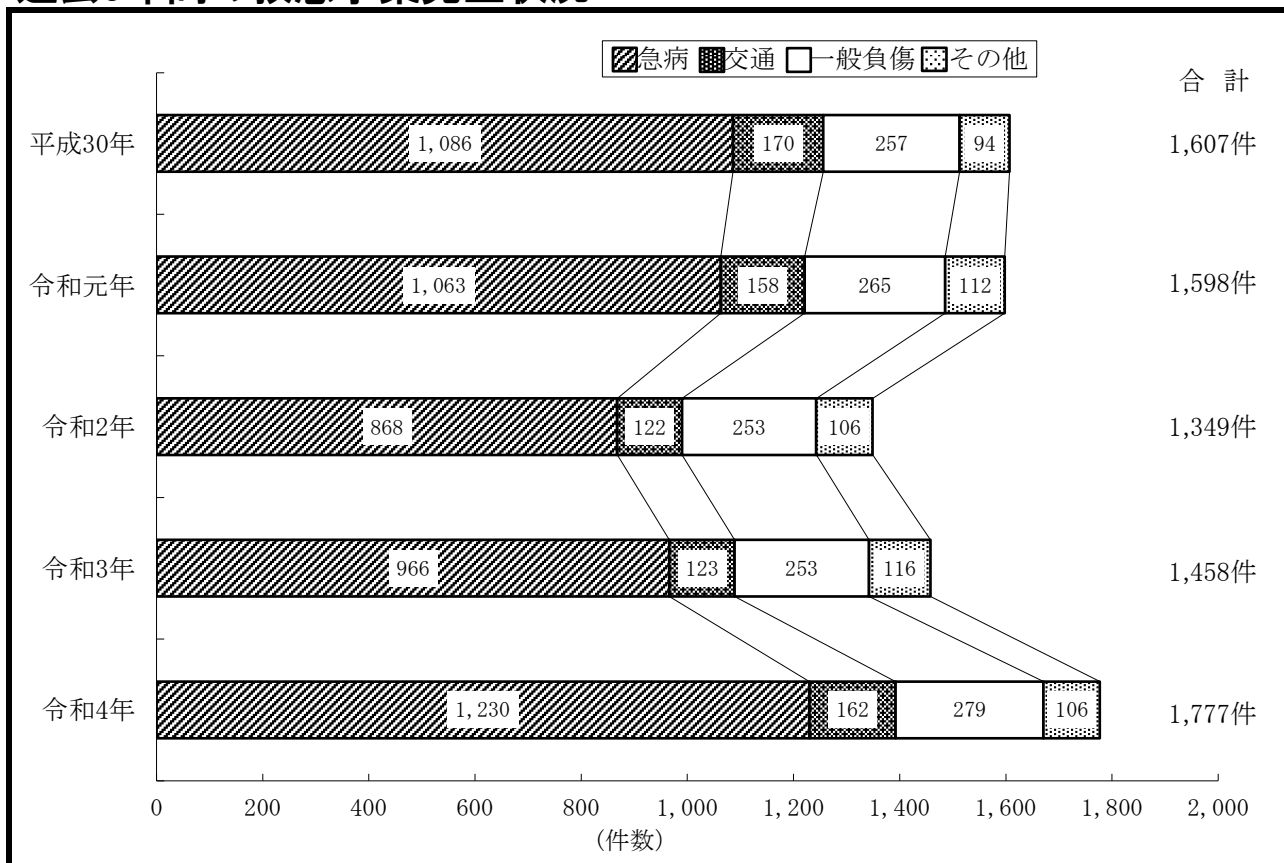
救急事案発生状況

区 別		年 別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	救急件数		6,605,213	6,639,767	5,933,277	6,193,581	
	発生率		520	523	473	492	
三 重 県	救急件数		100,560	98,919	87,314	90,460	
	発生率		554	545	493	516	
菰野町	救急件数		1,607	1,598	1,349	1,458	1,777
	発生率		384	383	324	352	430

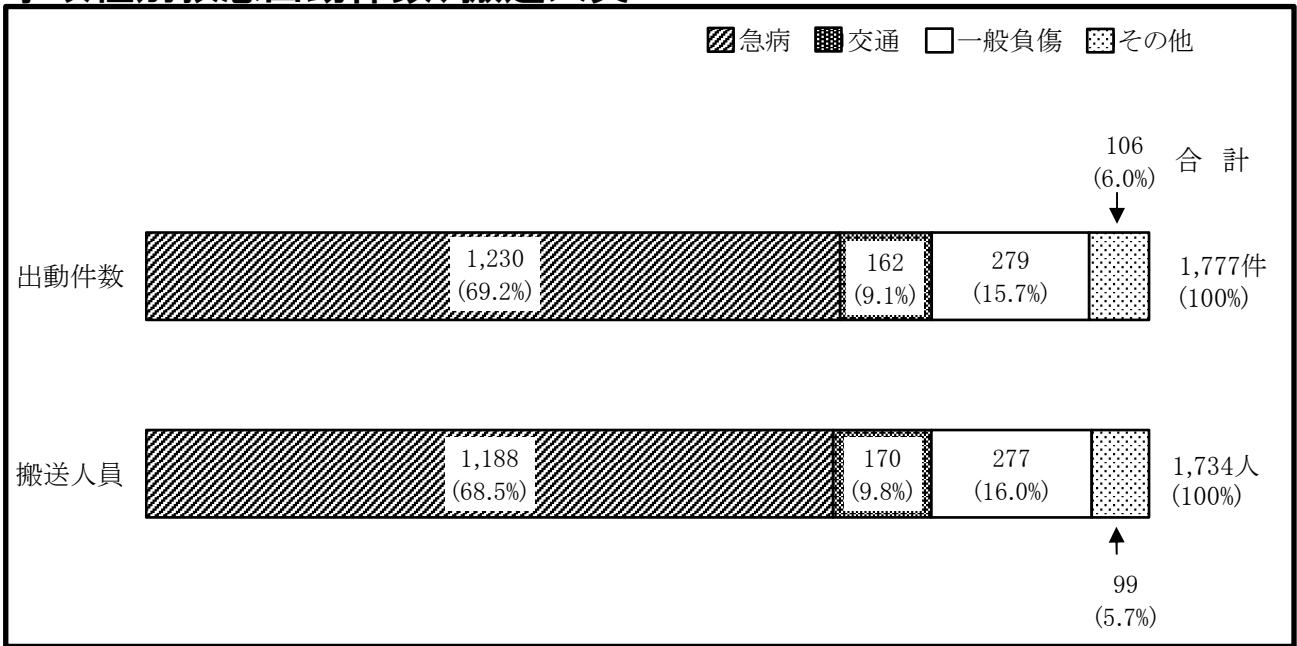
※発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,283人(令和4年12月31日現在)

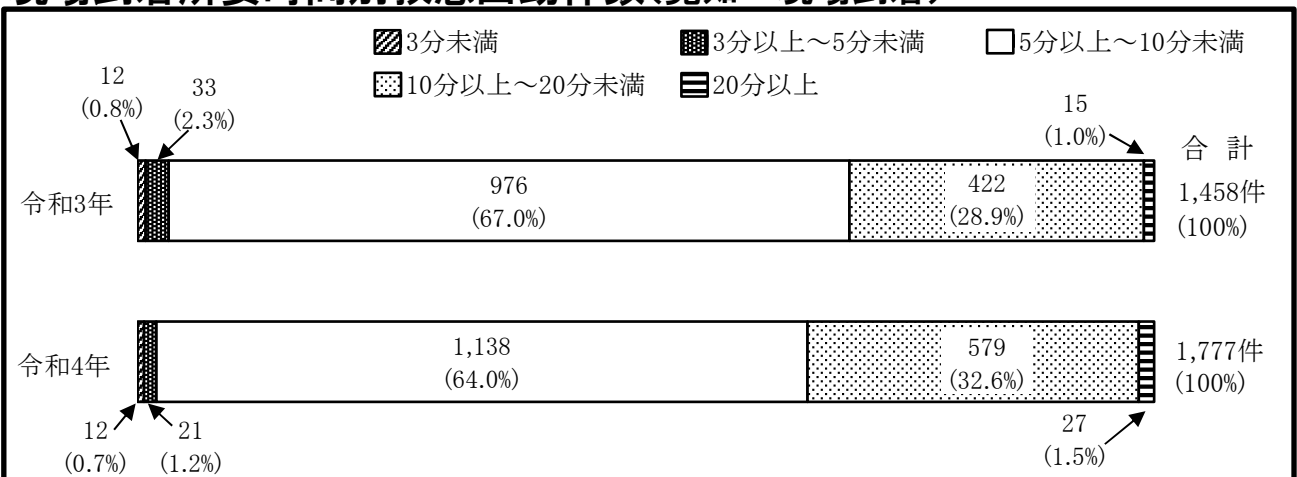
過去5年間の救急事案発生状況



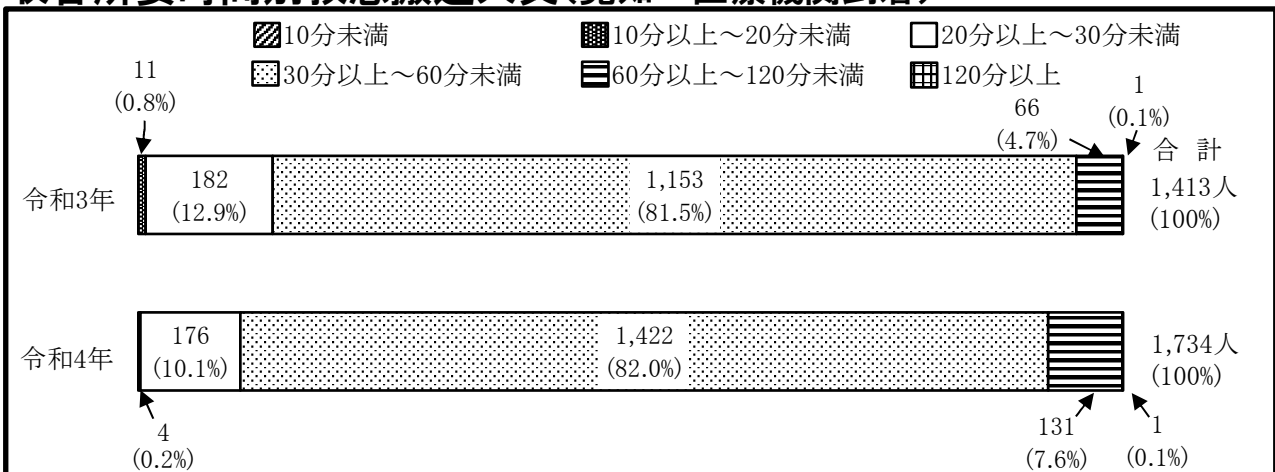
事故種別救急出動件数、搬送人員



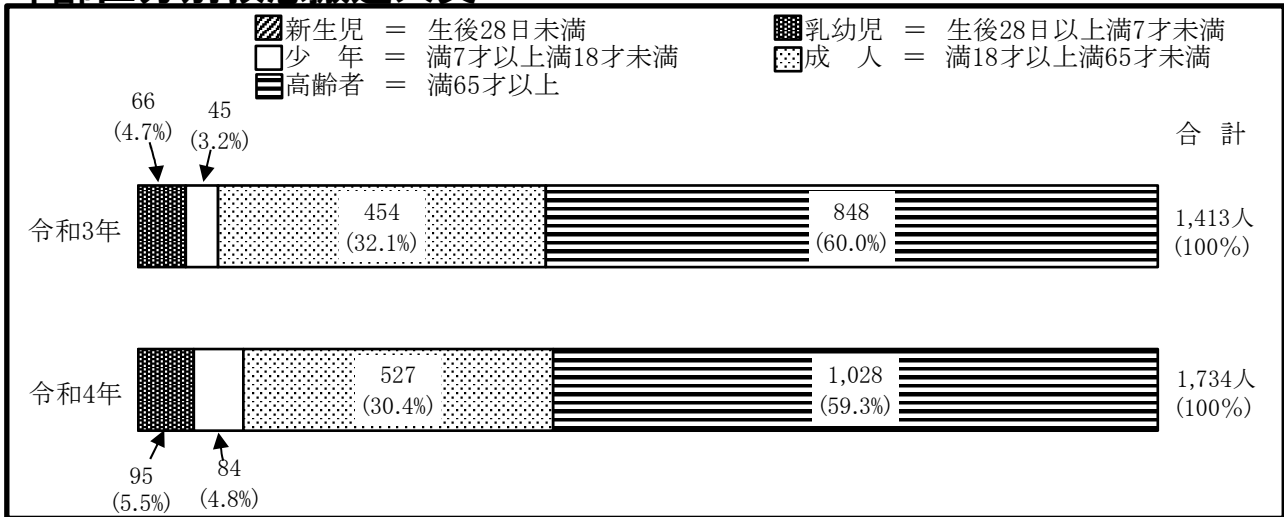
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



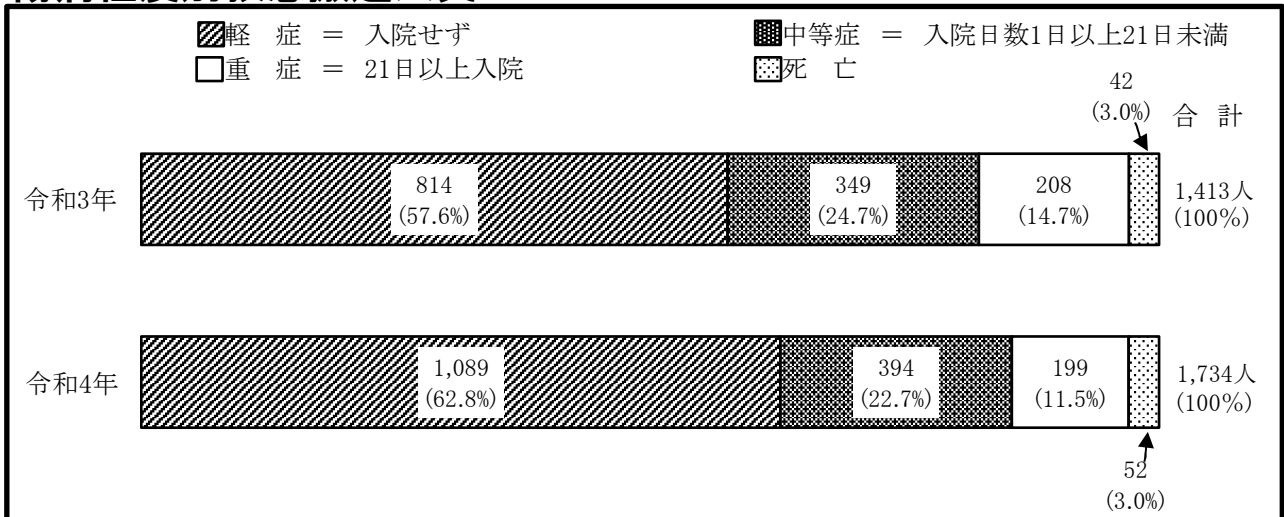
收容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



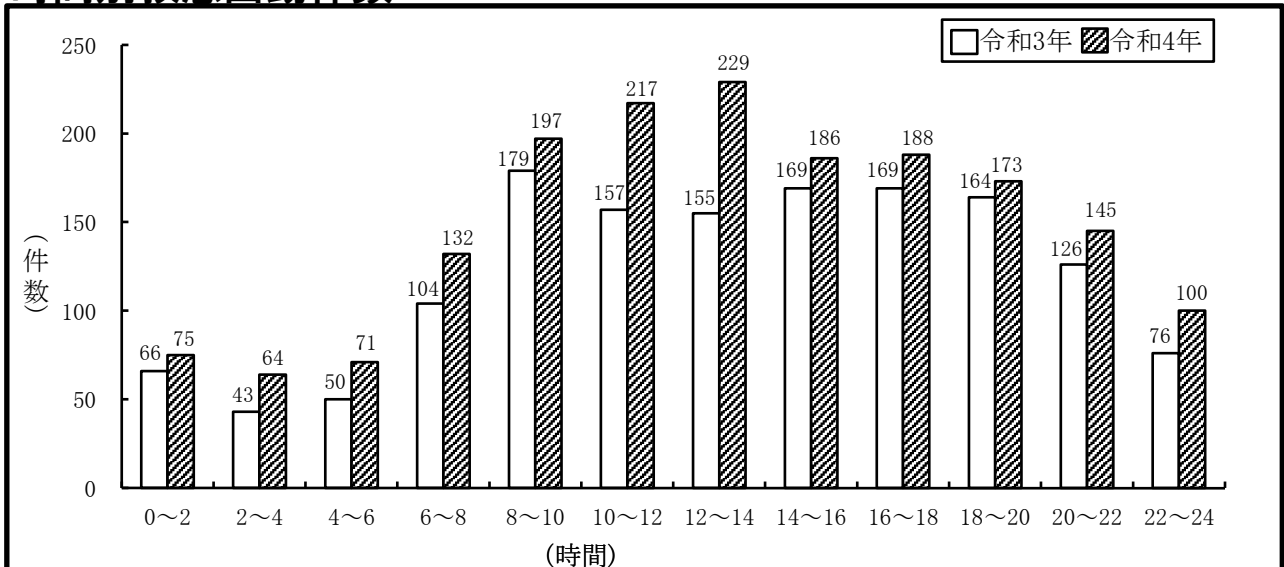
年齢区分別救急搬送人員



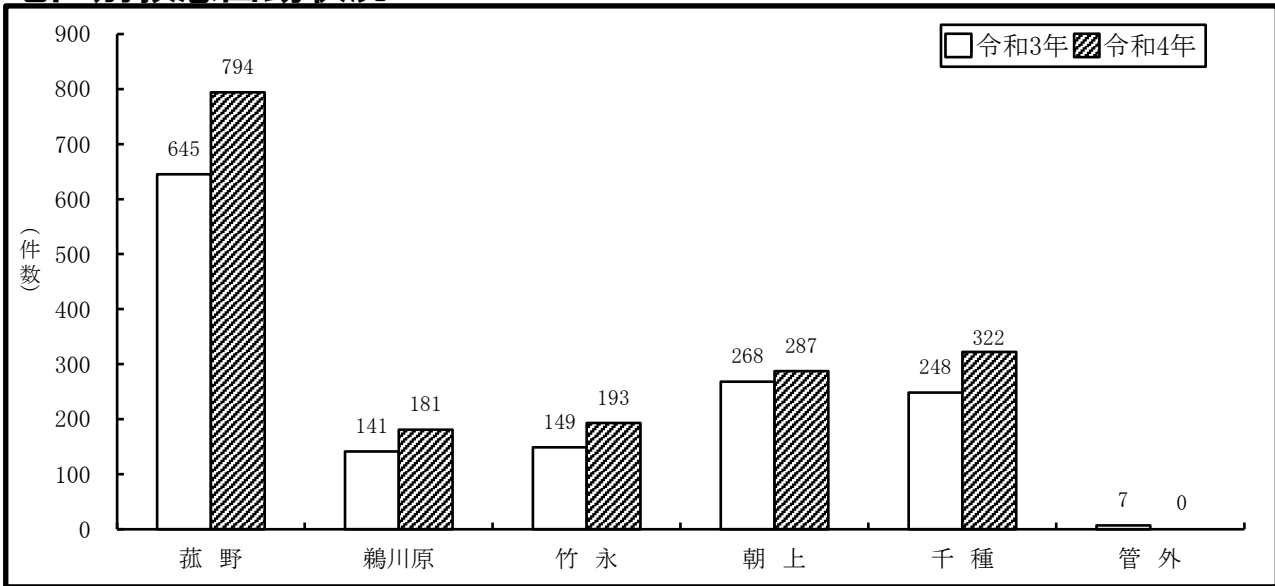
傷病程度別救急搬送人員



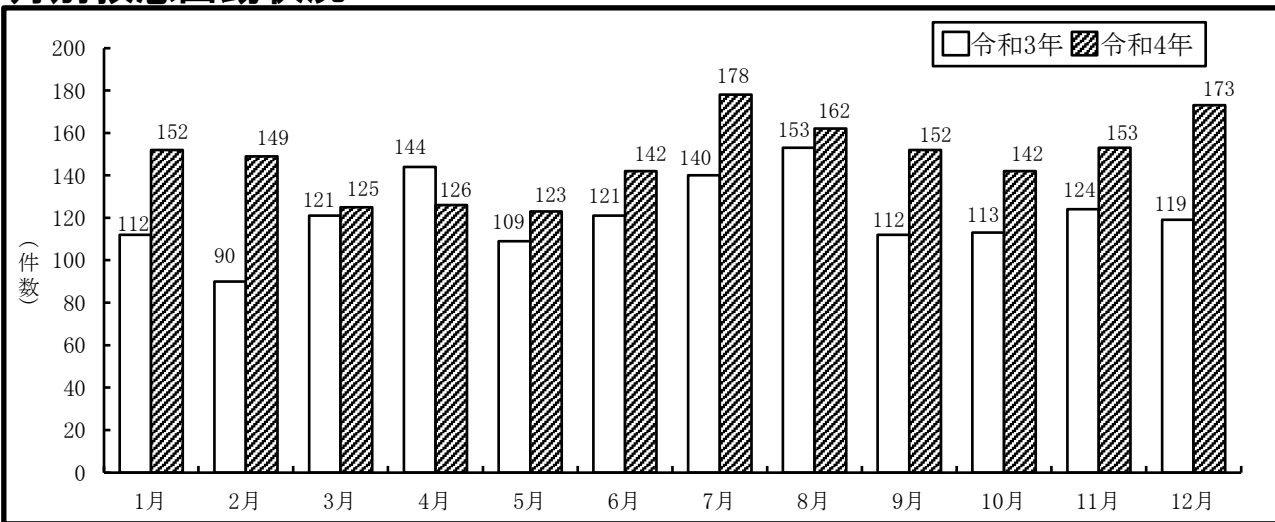
時間別救急出動件数



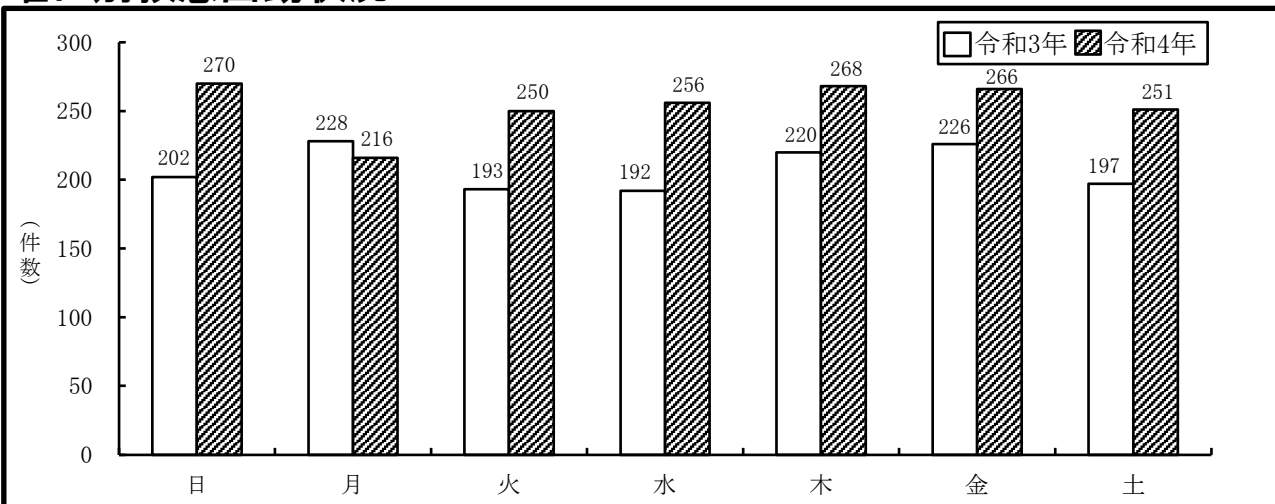
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和4年 合計	令和3年 合計
死亡				6	46	52	42
重症			3	47	149	199	208
中等症		11	8	78	297	394	349
軽症		84	73	396	536	1,089	814
その他							
合計		95	84	527	1,028	1,734	1,413

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和4年 合計	令和3年 合計
新生児													
乳幼児				4			32			59		95	66
少年				25		2	13	1		43		84	45
成人			1	104	17	1	46	1	7	327	23	527	454
高齢者				37	8		186	1	2	759	35	1,028	848
合計			1	170	25	3	277	3	9	1,188	58	1,734	1,413

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和4年 合計	令和3年 合計
死亡							2		3	46	1	52	42
重症				9	7		34		1	123	25	199	208
中等症				13	2		53		1	302	23	394	349
軽症			1	148	16	3	188	3	4	717	9	1,089	814
その他													
合計			1	170	25	3	277	3	9	1,188	58	1,734	1,413

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和4年合計	令和3年合計
休日					23	4	1	50	1		241		320	197
休日以外の日				1	139	21	2	229	3	15	989	58	1,457	1,261
時間内	0～2				1	1		6		3	64		75	66
	2～4				4			5		1	54		64	43
	4～6				8			7		1	55		71	50
	6～8			1	9			20		1	101		132	104
	8～10				17	5		31		1	137	6	197	179
	10～12				22	6	1	31		2	142	13	217	157
	12～14				32	3	1	34	2	1	136	20	229	155
	14～16				21	5		43			111	6	186	169
	16～18				17	5	1	37		1	115	12	188	169
	18～20				16			22	2	1	131	1	173	164
	20～22				9			27		1	108		145	126
	22～24				6			16		2	76		100	76
令和4年計			1	162	25	3	279	4	15	1,230	58	1,777		
令和3年計		1			123	19	10	253	9	11	966	66		1,458

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	14	15	67	10	106
固定	27	134	117	22	300
人工呼吸	2				2
心肺蘇生	41		2	3	46
酸素吸入	266	15	11	23	315
気道確保	68		4	3	75
気道確保（特定行為）	18		3		21
保温	289	38	56	18	401
被覆	13	39	83	15	150
除細動	5				5
静脈路確保	41		3	3	47
薬剤投与	25			2	27
ブドウ糖投与	2				2
その他	4,309	587	848	307	6,051
合計	5,120	828	1,194	406	7,548

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和4年合計		令和3年合計	
	開設別		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	
救急告示医療機関	国立													
	公立		768	768	101	101	165	165	75	75	1,109	1,109	846	846
	公的		336	118	61	29	100	46	20	4	517	197	478	171
	私的	病院	71	71	7	7	11	11	4	4	93	93	76	76
		診療所												
	計		1,175	957	169	137	276	222	99	83	1,719	1,399	1,400	1,093
その他の医療機関	国立		1	1							1	1		
	公立		1	1							1	1		
	公的												1	1
	私的	病院	7	7							7	7	7	7
		診療所	4	2	1		1	1			6	3	5	5
	計		13	11	1		1	1			15	12	13	13
計	国立		1	1										
	公立		769	769	101	101	165	165	75	75	1,110	1,110	846	846
	公的		336	118	61	29	100	46	20	4	517	197	479	172
	私的	病院	78	78	7	7	11	11	4	4	100	100	83	83
		診療所	4	2	1		1	1			6	3	5	5
	計		1,188	968	170	137	277	223	99	83	1,734	1,411	1,413	1,106
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
令和4年計			1,188	968	170	137	277	223	99	83	1,734	1,411		
令和3年計			926	712	127	104	249	190	111	100			1,413	1,106

救 助

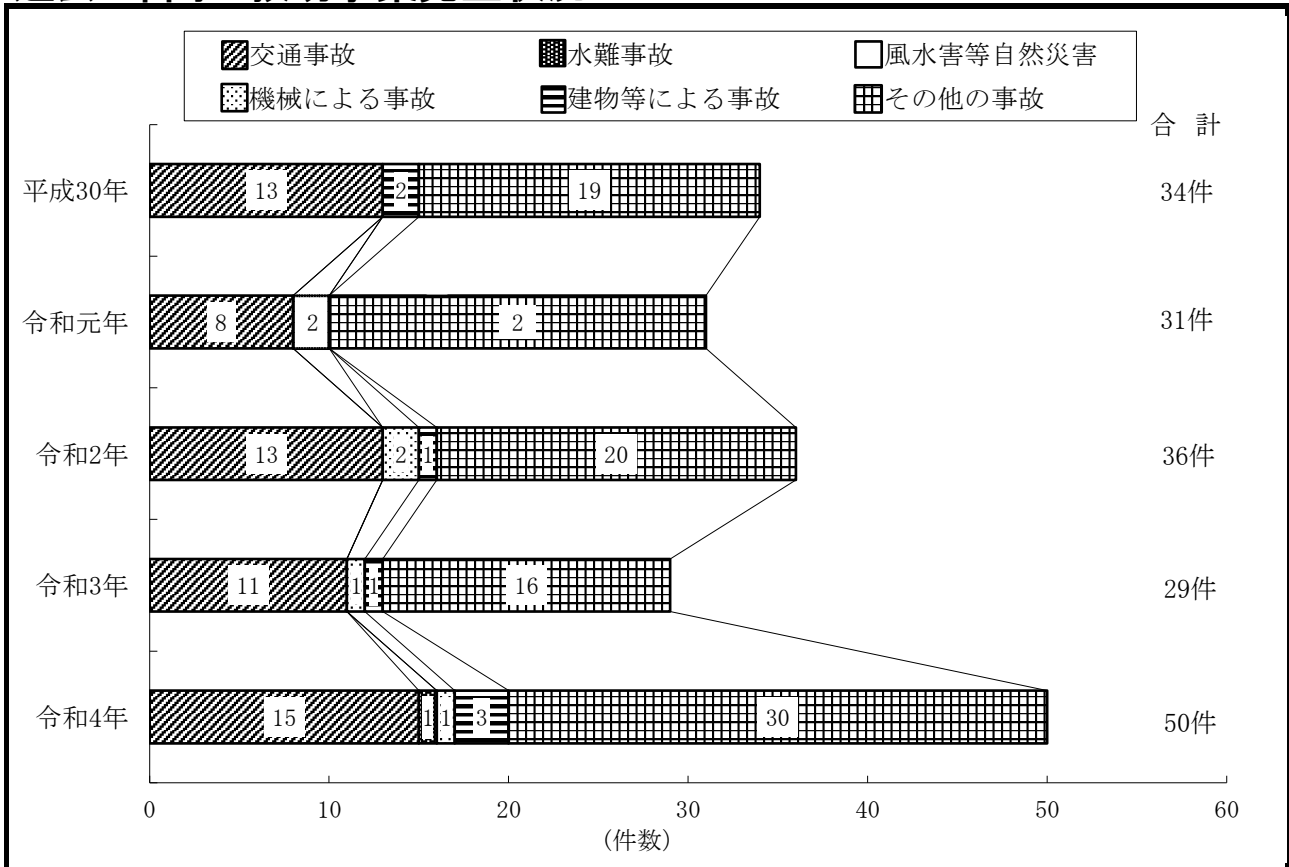
令和4年中の救助出動件数は50件、救助人員は33人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故29件(うち山岳救助24件)が最も多く、交通事故が15件、建物等による事故が3件、水難事故が1件、機械による事故が1件、ガス及び酸欠事故が1件となりました。

救助事案発生状況

区 別		年 別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	救助出動件数		97,429	96,424	93,989	99,395	
	救助活動件数		61,507	61,340	59,977	63,198	
	救助人員		63,836	63,670	57,952	59,861	
三 重 県	救助出動件数		876	924	878	930	
	救助活動件数		582	606	575	637	
	救助人員		620	725	633	702	
菰 野 町	救助出動件数		34	31	36	29	50
	救助活動件数		25	22	25	23	32
	救助人員		31	24	26	31	33

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			15	1		1	3	1		29	50	29
救 助 人 員			7	1		1	2			22	33	31

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			53	6		4	12			132	207	124
消 防 隊 員			19					4			23	12
救 急 隊 員			47	3		3	9	3		15	80	66
合 計			119	9		7	21	7		147	310	202

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			15	1		1	3			4	24	18
タ ン ク 車								1			1	
ポ ン プ 車			6								6	4
救 急 車			16	1		1	3	1		5	27	22
指 揮 車				1							1	1
広 報 車										25	25	11
資 機 材 搬 送 車												
そ の 他 の 車 両										5	5	1
合 計			37	3		2	6	2		39	89	57

※その他の車両とは、事務連絡車と防災広報車

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1 月 2 日 (日) 11 時 59 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
2	そ の 他	1 月 5 日 (水) 10 時 19 分	菰 野 (神 森)	報 知 電 話	
3	交 通	1 月 21 日 (金) 13 時 04 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
4	交 通	1 月 30 日 (日) 13 時 20 分	鵜 川 原 (大 強 原)	報 知 電 話	
5	交 通	2 月 4 日 (金) 8 時 19 分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
6	交 通	2 月 6 日 (日) 15 時 10 分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	2 月 13 日 (日) 8 時 32 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	3 月 6 日 (日) 12 時 29 分	千 種 (千 草)	加 入 電 話	
9	交 通	3 月 18 日 (金) 10 時 29 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
10	交 通	3 月 20 日 (日) 18 時 55 分	鵜 川 原 (大 強 原)	加 入 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車同士の衝突事故により、1名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、後部ドアから救助隊進入し、介添えにて車外へ救出した。
	救助工作車 救急3号車	8	2階建てアパート1室へ、玄関扉が施錠されており室内へ入ることができない。	救急隊が既に屋内へ進入しており、救助活動の必要はなく、救急隊の支援をし、帰署した。
	ポンプ車 救助工作車 救急2号車	7	交差点内での、車両同士の衝突事故。1台が横転し、車内に1名取り残されている。	先着の救急隊によるフロントガラス切断の活動補助を行った。
	救助工作車 救急3号車	5	軽四自動車同士の衝突事故により、車内に閉じ込められている。	現場到着時には、全員車外へ出ており救助活動なし。
	救助工作車 救急1号車	7	自転車で走行中に用水路へ転落。	全身固定実施後、梯子にて救出した。
	救助工作車 救急3号車	4	軽四自動車の単独事故。田んぼへ落下し、車内に1名が閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
	広報車	4	御在所岳表道登山道2名道迷いに警察官3名が接触し計5名でビバークし、疲弊により救助要請。	現場到着前に三重県防災航空隊により、三滝川場外へ搬送された。
	広報車 事務連絡車	8	釈迦ヶ岳庵座の滝付近に人が倒れている。	人力にて引揚げた後、担架にて搬送した。
	救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車の単独事故。横転した車両に1名閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかった。漏油を確認したため除去を行った。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	10	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故。傷病者が2名おり、挟まれ等の詳細不明。	現場到着時には、車外へ出ており、救助活動なし。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
11	そ の 他	3 月 21 日 (月) 14 時 01 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
12	そ の 他 (山 岳)	4 月 2 日 (土) 15 時 12 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
13	交 通	4 月 5 日 (火) 15 時 36 分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	
14	交 通	4 月 11 日 (月) 9 時 28 分	鵜 川 原 (川 北)	報 知 電 話	
15	そ の 他 (山 岳)	5 月 8 日 (日) 10 時 47 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
16	交 通	5 月 12 日 (木) 3 時 06 分	新名神高速道路	加 入 電 話	
17	そ の 他 (山 岳)	5 月 18 日 (水) 7 時 40 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
18	そ の 他	5 月 29 日 (日) 19 時 04 分	朝 上 (根の平)	報 知 電 話	
19	そ の 他 (山 岳)	6 月 3 日 (金) 10 時 43 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
20	水 難	6 月 6 日 (月) 7 時 23 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	国道477号線蒼滝付近の崖下12mにうつ伏せで1名倒れている	担架へ収容した後、人力にて国道まで救出した。
広報車	4	御在所岳裏道登山道下山中に5m滑落し、頭部及び腰部を負傷した。	現場到着時には、滋賀県防災航空隊により要救助者の搬送準備が開始されていたため、その活動の補助を実施。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	普通乗用車の単独事故。運転席ドアが開放困難で、車内に2名閉じ込められている。	現場到着時には、2名とも車外へ出ており救助活動なし。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	車両同士の衝突事故。車両1台が横転しており、1名車内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
広報車 可搬積載車	7	鎌ヶ岳三ツ口谷登山口より30分程度の所で登山道から2m下の川へ滑落している。	担架にて救出し登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	故障により停車していた10tトラックに後方から10tトラックが追突し、1名車両内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
広報車	4	御在所岳中道登山道下山中に道迷いになり、衰弱により救助要請。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	1歳児の左ひざがベビーガードに挟まって足が抜けなくなった。	ドライバーにてベビーガードを外して救出した。
広報車	4	御在所岳大黒滝下付近にて滑落し、顔面からの出血、背部痛により歩行困難。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
指揮車 救助工作車 救急1号車	9	潜水橋で川に流され、30m下流の中州に取り残されている。	四日市市消防本部水難救助隊に応援要請し、水難救助隊員によりロープで引き揚げ救出完了となった。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
21	交 通	6 月 7 日 (火) 4 時 41 分	新名神高速道路	報 知 電 話	
22	そ の 他 (山 岳)	6 月 12 日 (日) 10 時 50 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
23	そ の 他 (山 岳)	6 月 19 日 (日) 8 時 31 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
24	そ の 他 (山 岳)	6 月 23 日 (木) 7 時 41 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
25	そ の 他 (山 岳)	6 月 25 日 (土) 11 時 20 分	千 種 (千 草)	加 入 電 話	
26	そ の 他 (山 岳)	6 月 25 日 (土) 18 時 36 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
27	そ の 他 (山 岳)	6 月 27 日 (月) 15 時 55 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
28	交 通	6 月 28 日 (火) 15 時 36 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
29	そ の 他 (山 岳)	7 月 13 日 (水) 13 時 10 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
30	そ の 他 (山 岳)	7 月 13 日 (水) 15 時 55 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	10tトラックに乗用車が追突した事故。	高速道路上の車線規制を実施。救助活動の必要性が無かったため帰署。
広報車 救急1号車	4	御在所岳藤内壁をクライミング中に10m滑落し、背部及び左手を負傷した。	レスキューハーネスにて搬送し救出した。
広報車	4	国見岳腰越峠付近で滑落し、石と石の間にはまり込んでいる。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
広報車 可搬積載車	8	御在所岳本谷不動滝付近で、前額部より出血し倒れている。	レスキューハーネス及び担架にて搬送し救出した。
広報車	4	国見岳腰越峠付近を登山中に、熱中症疑いで動けない。	出場途上に症状が回復したため、出場キャンセルとなった。
広報車 可搬積載車	7	国見岳ハライド付近を下山中に右ひざの痛みにより、歩行困難となった。	介添えにて搬送し救出した。
広報車	4	御在所岳裏道前壁ルンゼ付近で1mほど滑落し、右足を負傷した。	滋賀県防災航空隊により、医療機関へ搬送した。
ポンプ車 救助工作車 救急2号車	9	軽四自動車の単独事故。1名車の中に閉じ込められている。	車両固定後、運転席側ドアより車外へ救出した。
広報車 事務連絡車	9	登山中に行方不明中の2名を発見した。1名自力歩行不可。	レスキューハーネスにて搬送し救出した。
広報車	4	御在所岳裏道分岐から中道へ下山中、斜面を2m滑落し歩行困難となった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで背負いにて搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
31	そ の 他	7 月 20 日 (水) 15 時 23 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	
32	そ の 他 (山 岳)	7 月 24 日 (日) 16 時 14 分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
33	そ の 他 (山 岳)	8 月 1 日 (月) 16 時 09 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
34	交 通	8 月 3 日 (水) 11 時 43 分	菰 野 (菰 野)	報 知 電 話	
35	そ の 他	8 月 29 日 (月) 7 時 48 分	竹 永 (永 井)	報 知 電 話	
36	そ の 他 (山 岳)	8 月 31 日 (水) 12 時 33 分	菰 野 (菰 野)	加 入 電 話	
37	機 械	9 月 5 日 (月) 12 時 29 分	菰 野 (菰 野)	報 知 電 話	
38	建 物 等	9 月 8 日 (木) 18 時 05 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	
39	ガス及び酸欠	9 月 16 日 (金) 16 時 53 分	菰 野 (菰 野)	加 入 電 話	
40	交 通	9 月 16 日 (金) 17 時 04 分	鶺 川 原 (吉 沢)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	6	ガードレールに接触し、車内でぐったりしている。	救急隊より救助の必要性がないとの連絡を受け、帰署した。
	広報車	4	羽鳥峰峠付近で、意識朦朧状態となりぐったりしている。	滋賀県防災航空隊により、医療機関へと搬送した。
	広報車	4	御在所岳中道登山道を登山中に両足が攣り動けなくなった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、名古屋市消防局消防航空隊が医療機関へ搬送した。
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車	10	軽四自動車により横転した車両の中に1名閉じ込められている。	車両固定後、梯子にて救出した。
	救助工作車 救急1号車	7	3m下の用水路に転落し動けない。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
	広報車	4	御在所岳裏道前壁ルンゼ付近にて昨日からの行方不明者を三重県警察航空隊が発見した。	滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	7	稲刈り中に誤って稲刈り機から転落し、右足首を挟まれている。	丸太を稲刈り機下部へ差し込み稲刈り機が動き救出となった。
	救助工作車 救急2号車	7	浴室内で転倒し、ドアにもたれた状態で開放できないため救助要請となった。	わずかにドアが開くため、隙間から浴槽内へ押し入り救出した。
	タンク車 救急1号車	7	浴室内で故意に硫化水素を発生させた。	警察により屋外へ救出されていた。空気呼吸器を装着し、屋内を調べ異常がなかったため帰署した。
	救助工作車 救急2号車	6	普通乗用車の自損事故。車内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
41	交 通	9 月 23 日 (金) 21 時 31 分	菰 野 (菰 野)	加 入 電 話	
42	そ の 他 (山 岳)	9 月 25 日 (日) 12 時 56 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
43	そ の 他 (山 岳)	9 月 26 日 (月) 7 時 58 分	朝 上 (杉 谷)	自 己 覚 知	
44	そ の 他 (山 岳)	10 月 14 日 (金) 13 時 55 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
45	そ の 他 (山 岳)	10 月 19 日 (水) 10 時 42 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
46	そ の 他 (山 岳)	11 月 10 日 (木) 18 時 03 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
47	そ の 他 (山 岳)	11 月 15 日 (火) 10 時 21 分	朝 上 (杉 谷)	加 入 電 話	
48	建 物 等	11 月 17 日 (木) 14 時 04 分	朝 上 (田口新田)	報 知 電 話	
49	建 物 等	11 月 17 日 (木) 14 時 36 分	鵜川原 (大強原)	報 知 電 話	
50	そ の 他 (山 岳)	12 月 10 日 (土) 10 時 15 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

自 己 覚 知 = 消 防 機 関 が 事 故 の 発 生 を 直 接 覚 知 し た も の

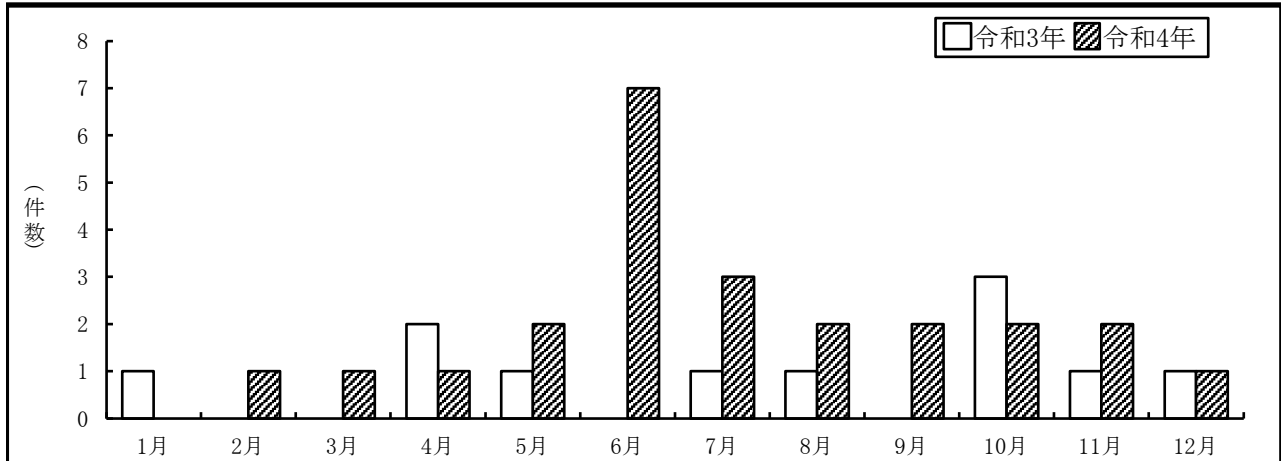
	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車の単独事故。車両が横転し、車内に閉じ込められている。	救急隊と連携しバックドアから救出し搬送した。
	広報車	4	釈迦ヶ岳岩ヶ峰付近で、滑落を目撃した登山者からの通報。	滑落場所から約90m下に要救助者を確認したが二次災害の危険があるため、下山した。
	広報車	4	救助出場No. 42にて、救出不可であった要救助者の救出に向かった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
	広報車	4	菰野富士遊歩道にて、左半身が痺痺して立ち上がれない。	現場到着時には、警察隊にて救出されていた。
	広報車	4	御在所岳中道登山道7合目付近で左足首を捻挫した。	三重県防災航空隊により、医療機関へと搬送した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道兎の耳付近で下山中に、足が痺れて動けなくなった。	介添えにて搬送し救出した。
	広報車	4	行方不明になっていた登山者を警察隊が発見して救助要請を行った。	警察隊と協力し、ピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
	救助工作車 救急2号車	7	昨日からの発熱があり、連絡が取れなく住居の玄関が開放できない可能性がある。	救急隊より救助の必要性がないとの連絡を受け、帰署した。
	救助工作車 救急1号車	7	階段を昇っていて手すりに右前腕が挟まり抜けにくい。	手すりと階段壁をつなぐネジを取り外し、人力にて救出した。
	広報車	4	御在所中道登山道負レ岩付近で体調不良により歩行困難となった。	三重県防災航空隊により、三滝川河川敷へと搬送した。

山岳救助

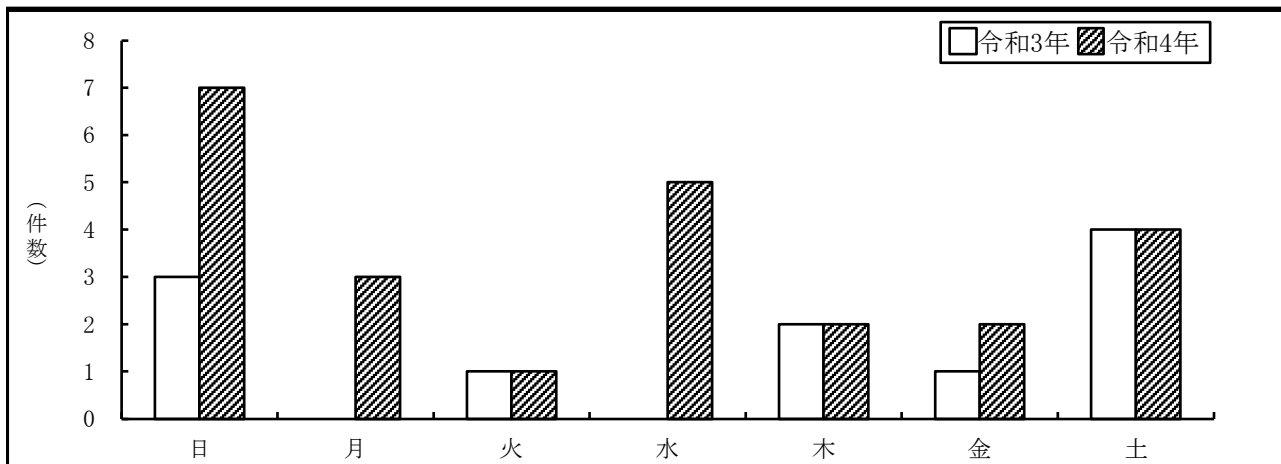
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しており、令和4年は24件の山岳救助出動をしています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間53分であり、最長活動時間は7時間20分を要しました。

月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況

